



叙勲 瑞宝双光章 石川義通さん

昭和46年に土浦市消防本部に消防士として採用後、平成22年に消防指令長として退職されるまでの39年間にわたり、特別救助隊長や救急隊長などの職務にまい進し、災害現場での消火や救助などに尽力された功績が認められ、受章されました。「支えてくれた家族や苦楽を共にした職場の仲間感謝しております。一人では成し遂げられないことであり、光栄に感じております」と受章の喜びを話してくれました。



誰もが自分らしく活躍できる社会を目指して

2月12日、千代田公民館で、「ジェンダー平等」の機運を作り、誰もが自分らしく活躍できる社会を目指すための「男女共同参画計画シンポジウム」を開催しました。茨城大学の長田華子准教授が、男女共同参画社会の実現には「性別に関する無意識の思い込みが壁」と講演。続いて、市内で働く方を交えた意見交換が行われました。参加者からは「子育てや介護の面で女性が相談できる場所があると良いと思う」と意見がありました。



（左から）宮嶋市長、藤井圭子さん／農業者、長田准教授、田澤良子さん／薬剤師、伊藤しのぶさん／弁護士

褒章 藍綬褒章 坂稔さん

平成7年に厚生労働大臣から民生委員・児童委員に委嘱され、令和4年までの27年間にわたり、地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政などをつなぐパイプ役として尽力された功績が認められ、受章されました。「市民の皆さんをはじめ、周囲の方のご理解とご支援のおかげで、27年間も勤め上げることができました。お世話になった皆様に感謝しております」と受章の喜びを話してくれました。



市民の健康増進に関する協定を締結

2月15日、「健康増進に関する連携協定」を、明治安田生命保険相互会社と締結しました。この協定は、健康づくり・がん対策・感染症対策に関することや健康増進に関する取り組みについて連携・協力するためのものです。今後は、協定に基づき、健康づくりのイベントなどを通じて、市民の皆さんの健康増進に関する意識向上や健康寿命の延伸に向けた取り組みを進めていきます。



明治安田生命保険相互会社 伊吹浩光つくば支社長（写真右）

地域の保健福祉に尽力 川島房宣さん

茨城県市長会から、自治功労者として川島房宣さんが表彰を受けました。川島さんは、平成8年から現在までの永きにわたり、公立学校医として就学時健診や感染症に関する指導・助言などに尽力され、学校保健や健康教育の充実と発展に大きく貢献されました。また、土浦市医師会会長をはじめ、市の国民健康保険事業の運営に関する協議会委員など、数多くの委員を歴任し、地域の保健福祉の向上にも尽力されました。



川島房宣さん（写真右）

東博で本市古墳からの出土品が展示

2月19日まで、東京国立博物館（東博）で「令和5年新指定国宝・重要文化財」展が開催され、新指定重要文化財として本市の風遠稲荷山古墳出土品が展示されました。出土品のそばに設置されたパネルには、「鍍金や銀板で装飾された馬具や大刀は、保存状態が良く、当時の権力者が好んだ金・銀の輝きを現代に伝えます」と解説が書かれていました。見学者からは「とてもきれい。古墳時代の技術の高さに驚きました」と感想がありました。



クイズをとおして広めよう！帆引き船

1月25日、あじさい館で「広めよう！かすみがうらの帆引き船 -クイズ制作ワークショップ-」を開催。市民の方をはじめ、帆引き船保存会や市職員を含む15人が参加しました。前半は、帆引き船の歴史や操業のしくみを映像で学び、後半はグループに分かれて帆引き船に関するクイズを制作。参加者は、クイズをとおして帆引き船の素晴らしさを再認識していました。クイズは、3月末までWEBで限定公開しています ▶



今日うれしいひな祭り

3月3日、やまゆり保育所で「ひなまつり」を開催しました。ステージ上には、子どもたちが制作した個性あふれるひな飾りが大集合していました。自分のひな飾りを指さして「わたしが作ったんだよ！」と嬉しそうに話す子もいました。みんなでひな祭りの由来を学んだり、童謡「うれしいひなまつり」を歌ったりするなど、楽しい時間を過ごしていました。

